Energia

報 道 資 料

平成16年2月26日
中国電力株式会社

島根原子力建設所の設置について

当社は，島根原子力発電所3号機増設に必要な敷地造成等の準備工事開始に向け，3月1日付けで島根原子力発電所構内に「島根原子力建設所」を設置することとしました。

これまで当社は，3号機の増設について，地域の皆さまのご理解をいただくよう努めるとともに，準備工事の開始に向け許認可手続きなどを進めてまいりましたが，島根県から2月9日に「公有水面埋立免許」を，2月23日に「林地開発許可」をいただきました。このたびの「島根原子力建設所」の設置は，今後の準備工事および本工事をより円滑に進めるために体制を整えるものです。

なお，準備工事は，今後，諸準備が整い次第，できるだけ速やかに開始したいと考えておりますが，工事中の安全確保と環境保全対策に万全を期すことはもとより，地域の皆さまに信頼される発電所となるよう，引き続き全力を傾注してまいります。

【島根原子力建設所の概要】

1.組織名　島根原子力建設所
2.住所　島根県八束郡鹿島町大字片句654-1
（島根原子力発電所構内）
3.所長　横田　徹（現 島根調査事務所長）
4.人員数　29名
5.組織図　添付資料のとおり
6.設置日　平成16年3月1日
（建設所設置に伴い，「島根調査事務所」は廃止します。）

【準備工事の概要】

準備工事では，護岸・防波堤を新設し，3号機に必要な敷地を造成します。また，これらの工事に併せて放水路・放水口を設置します。

1.敷地造成工事

発電所敷地造成：面積約20万㎡（うち公有水面埋立は約7万㎡）

2.護岸工事

防波護岸　：延長約490m

湾内護岸　：延長約150m

3.防波堤工事

防波堤　　：延長約120m

東防波堤　：延長約160m

4.放水路・放水口工事

3号機用新設，2号機用付替

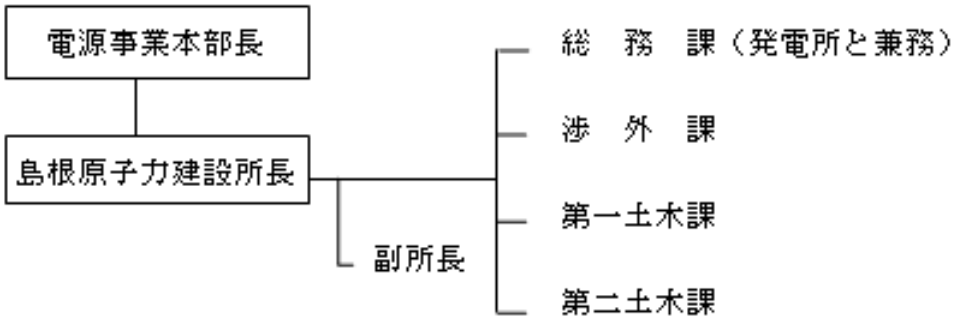
以上

添付資料　島根原子力建設所の組織図

参考　島根原子力発電所3号機の増設に関するこれまでの経緯

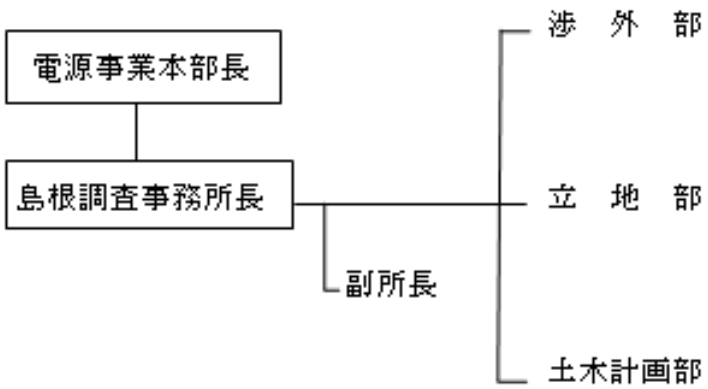
添付資料

【島根原子力建設所の組織図】



＊建設所の総人員数２９人。（総務課は除く）

（参考）現在の島根調査事務所の組織図



＊調査事務所の総人員数２９人。

参考

島根原子力発電所3号機の増設に関するこれまでの経緯

平成　9年　3月 島根県，鹿島町へ増設の申し入れ
平成　9年　4月 島根立地調査事務所を設置（※島根原子力事務所を改組）
平成10年　2月 環境影響調査書を国へ提出
平成10年11月 国が第一次公開ヒアリングを開催
平成12年　8月 国の電源開発調整審議会で，電源開発基本計画への組入れが決定
平成12年10月 原子炉設置変更許可申請書を国へ提出
平成13年10月 島根調査事務所を設置（※組織改正に伴い島根立地調査事務所を改組）
平成15年　5月 公有水面埋立免許願書を島根県へ出願
平成15年　6月 林地開発許可を島根県へ申請
平成15年11月 公有水面埋立免許願書を島根県へ再出願
平成15年12月 原子炉設置変更許可申請書に係る補正書を国へ提出
平成16年　2月 公有水面埋立免許を島根県から取得
平成16年　2月 林地開発許可を島根県から受領

島根原子力発電所の概要

設　備　概　要	1号機（運転中）	2号機（運転中）	3号機（計画）
出力	46万kW	82万kW	137.3万kW
原子炉の型式	沸騰水型（BWR）	沸騰水型（BWR）	改良沸騰水型（ABWR）
冷却水量	約30m^3／秒	約60m^3／秒	約95m^3／秒
取水方式	深層取水	深層取水	深層取水
放水方式	表層放水	水中放水（注）	水中放水
営業運転開始の時期	昭和49年3月	平成元年2月	平成23年3月（予定）

（注）2号機放水口位置変更に合わせ表層放水から水中放水に変更